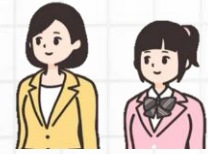


あなたの「納得」した意思決定へ。

岩見沢東高校2年A組のみなさんへ

頭の中にある迷いや考えを描き起こし「納得した意思決定」を目指す

意思決定プログラム &



同じ目線で考えてくれる大人と一緒に、あなたの将来を家族でフラットに話せる場所

親子会議室プロジェクト

この取り組みでできること



01

頭の中を整理する進路選択表を使った、「意思決定プログラム」

選択肢と判断基準を軸に、自分が何を大切にしたいかが見えてきます。今回は保護者の方にも「我が子になったつもり」で書いていただき、親子の視点の違いや共通点を見つけるきっかけにします。

02

新しい視点に出会う地域での対話の場「親子会議室」

岩見沢市や北海道大学の職員が「第三の大人」として対話をサポート。対話の先には、市や大学の多様なネットワークを活かし、興味関心に合わせた「オーダーメイドの体験・出会い」へつなげます。

「岩見沢市こどもの生活実態調査」によると、「高校卒業後の進路についての相談相手」として生徒（高2）の回答は、「親」が90.7%と最も多い一方で、「おうちの人は、あなたに将来どの段階まで進学してほしいと考えていますか」については「わからない」と30.7%が回答。「お子さんの高校卒業後の進路についてはどのように考えていますか」という保護者への質問についても「まだわからない」が33.3%の回答結果でした。

この結果を受け、岩見沢市は北海道大学と連携して、将来に対する選択肢と判断基準を見える化する1枚のシート（進路選択表）を親子で描いて見比べることで、より深く進路について話すきっかけをつくりたいと考えています。さらに「親子会議室」で対話を重ねることにより、生徒がより納得した意思決定をできるような取り組みとなることを目指しています。

意思決定プログラム&親子会議室プロジェクトの流れ

● 生徒のみなさんが「進路選択表」を描く授業

12月11日（木）に進路選択に関わる講義を受け、自分の選択肢と判断基準を可視化します。
完成した「進路選択表」は画像データで提出いただきます。

● 保護者のみなさまが「進路選択表」を描くプログラム

12月11日（木）～18日（木）の期間で、保護者のみなさまにも「我が子になったつもり」で表を作成いただき、完成した「進路選択表」は画像データで提出いただきます。

● 「進路選択表」を親子で見比べる日

協力していただいた生徒・保護者の「進路選択表」を一緒に学校経由でお送りします。
お互いの「進路選択表」を見比べることで進路について親子で話すきっかけになれば幸いです。

● 生徒のみなさんへ学校での「進路選択表」を使った対話体験

12月15日（月）～19日（金）の期間で、岩見沢市や北海道大学の職員と「進路選択表」を使って、20分の対話体験を岩見沢東高校で実施します。

● みなさんへ「親子会議室」での対話

12月末～1月末の期間で、岩見沢市や北海道大学の職員と「進路選択表」を使って、地域での対話をであえーる岩見沢4階・北海道大学サテライトで実施します。事前予約制です。

▼紹介動画



▼進路選択表
提出フォーム



▼親子会議室
予約フォーム

